

dbマウス (C57BLKS/J Iar $-+Lepr^{db}/+Lepr^{db}$) 肥満・糖尿病モデル



db/db 雄 8週齢

由来および特徴

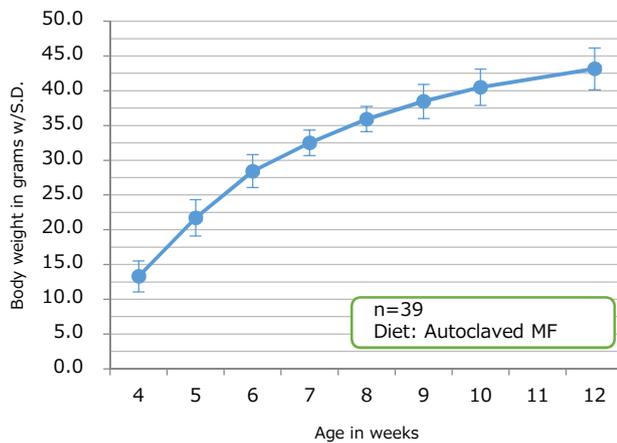
・dbマウス (C57BLKS/J Iar $-+Lepr^{db}/+Lepr^{db}$) は、1985年、浜松医科大学より動物繁殖研究所に導入されました。

ヒトの肥満型糖尿病に類似した症状を発現するインスリン非依存型 (2型) 糖尿病モデル動物です。

レプチンレセプターの異常により、過食・肥満を呈します。

ホモ個体 ($+Lepr^{db}/+Lepr^{db}$, db/db) は生後4週齢頃より肥満が認められ、体重の増加とともに血糖値の上昇が起きます。また、体重および血糖値については雌雄でほぼ同等の値となっています。

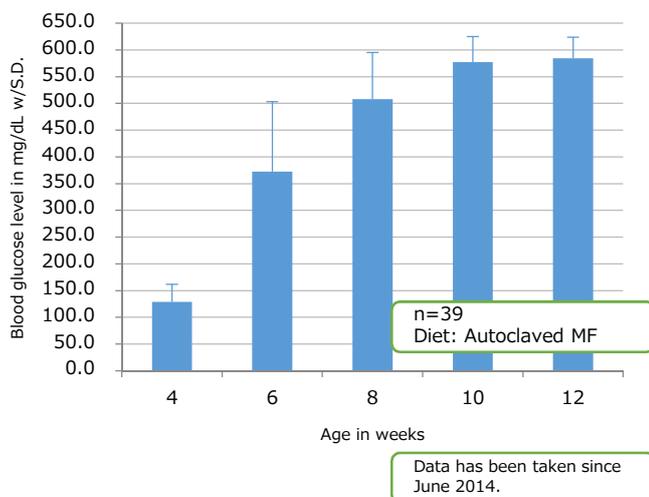
• 体重曲線 (db/db 雄)



• ホモ個体 出荷時体重 (グラム)

	雄	雌
5週齢	17~25	16~24
6週齢	24~32	21~29
7週齢	29~38	26~34
8週齢	32~41	28~37
9週齢	33~44	31~40
10週齢	34~46	34~44

• 血糖値の推移 (db/db 雄)



• 血糖値測定条件

- 絶食の有無: 絶食無し
- 測定時刻: 午前10時~午前11時
- 採血部位: 顔面静脈
- 測定機器: 簡易血糖測定機 (アークレイ株式会社製)
- 測定限界値: 600mg/dL
- 600mg/dL 以上は600mg/dLとして算出